

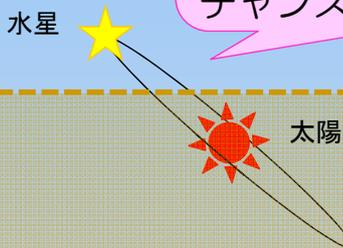
最も内側の惑星、水星を見つけよう！

太陽系でもっとも内側を回る惑星、水星。地球より内側公転し太陽に近いため、日没直後や日出直前しか見ることができない、幻の惑星でもあります。真偽のほどはわかりませんが、あのコペルニクスでさえも見たことがなかったとか。その水星を見るチャンスが6月上旬にやってきます。この機会に水星観察にチャレンジしてみませんか？

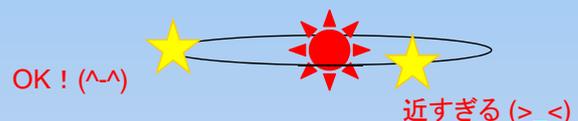
太陽から離れない惑星

水星（と金星）は地球の内側、惑星の中では太陽にもっとも近い軌道を公転しています。そのため地球から見ると、太陽の近くをある一定の角度以上離れることがありません。とはいつても太陽が空に出ている昼の間は水星を肉眼で見ることはほとんど不可能です。そのため、日没直後か日出直前に見やすくなります。特に、水星が太陽から見かけ上もっとも大きく離れたとき（最大離角といいます）がチャンスです。

日没直後か日出直前
（太陽が空に出ていないが
水星は出ている）ときが
チャンス！



見かけ上、太陽から離れて
いるときがチャンス！



6月上旬がチャンス！

2013年は6月上旬が水星を見る大きなチャンスです。日没時の水星の高さが高いことはもちろんですが、明るく目立つ金星が近くにあり、いい目印となるのです。日没30分後くらいが見やすい時間帯でしょう。金星を頼りに、さがしてみてください！ 肉眼で見つけにくいときは双眼鏡があると便利です。

見やすいとはいえ、やはり地平線近いところにしか見えませんので、西の空が開けたところで見るようにしましょう。



2013年6月10日頃19時30分の西～北西の空のようす

(AstroArts社製 ステラナビゲーター9で作成)

水星と金星の明るさは強調しています。
目盛は5度ごとです。